

乾燥剤を使って生花をしわのない色鮮やかなドライフラワーにし、美しさを長く楽しめるボトルフラワーを製作している塚園さん。「花束やブライダルブーケなどを記念として残すために製作を依頼されることも多いです。インテリアとして美しく映えるデザインになるよう心がけています」と語ります。講師としても活躍する塚園さんの目標は、「自身の更なる技術向上と、ボトルフラワーを普及させるための指導者の育成」です。



塚園さんが手がけたボトルフラワー